

高山村

データヘルス計画



平成28年3月

目次

1. 保健事業実施計画（データヘルス計画）基本的情報	1
1) 背景	
2) 保健事業実施計画（データヘルス計画）の位置づけ	
3) 計画期間	
2. 地域の健康課題	2
1) 地域の特性	
2) 国保加入者の状況	
3) 医療・介護の状況	
4) 特定健診・保健指導の状況	
5) これまでの取り組み	
3. 分析結果に基づく健康課題の設定	8
1) 健康指標の特徴	
2) 目標の設定	
4. 保健事業の実施	11
5. データヘルス計画の評価方法	11

1. 保健事業実施計画（データヘルス計画）基本的情報

1) 背景

保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価を行うための、レセプトの電子化やKDB(国保データベース)システム等の整備が進められています。

急速な少子高齢化は、医療制度や保険者に大きな影響を及ぼしており、健康・医療分野で大きな役割を果たす自治体や保険者には、より効果的な保健事業の実施がますます重要となっています。

平成25年6月14日閣議決定された「日本再興戦略」の一つとして、“国民の健康寿命の延伸”が重要な柱として位置付けされました。保険者は加入者の健康保持増進のため、レセプト等のデータの分析とPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な事業のための計画（データヘルス計画）を策定し、保健事業の実施と評価を行うよう求められています。

2) 保健事業実施計画（データヘルス計画）の位置づけ

データヘルス計画は、レセプト・健診情報等のデータの分析に基づいて保健事業を効果的に実施するための事業計画です。健康日本21（第2次計画）の基本指針を踏まえ、下記による関連計画と相互に連携しながら、事業が効果的かつ効率的に継続されるための補完的な位置付けとします。

- ① たかやま元気プラン（第3次高山村保健計画）
- ② かがやこう元気なたかやまっ子
- ③ 第2期 高山村国民健康保険特定健康診査等実施計画

3) 計画期間

計画期間については、関係する計画との整合性を図るため、第2期特定健康診査等実施計画の最終年度である平成29年度までの2年間の計画とします。

2. 地域の健康課題

1) 地域の特性

高山村は、中之条町と沼田市の間に位置した県北部の山間地域で、医療も村内に内科及び歯科診療所各1カ所と恵まれた環境とはいえません。特に、緊急時や夜間は隣接する市町村の医療機関の受診が必要となっています。

平成26年度（累計）の高山村の人口は3,891人で、高齢化率（65歳以上人口）は31.0%と国や県と比較して高い状況です。（図表 1）

図表 1

	総人口	高齢化率	出生率	死亡率	産業構成率			介護 認定率	平均寿命	
					第一次	第二次	第三次		男性	女性
高山村	3,891	31.0	5.4	18.5	16.1	27.4	56.5	18.5	79.0	85.8
県	1,959,150	23.9	9.2	11.6	5.5	31.8	62.6	19.7	79.4	85.9
同規模	2,779	35.2	5.8	16.3	22.7	21.7	55.7	19.8	79.4	86.5
国	124,852,975	23.2	8.6	9.6	4.2	25.2	70.6	20.0	79.6	86.4

健診・医療・介護データからみる地域の健康課題 (KGB)

高山村の主要死因の割合は、がんが最も高く、心臓病、脳疾患と続いているおり、県や同規模町村と国と同じ順位となっている。高山村の糖尿病および腎不全の死亡割合は同規模町村と比較して高い状況にあります。特に糖尿病については同規模町村や国の2.1倍、県の1.6倍となっています。（図表 2）

図表 2

	死因割合 (がん)	死因割合 (心臓病)	死因割合 (脳疾患)	死因割合 (糖尿病)	死因割合 (腎不全)
高山村	32	28	20	4	4
県	46.3	26.5	17.8	2.6	3
同規模	44.1	28.8	18.4	1.9	3.7
国	48.3	26.6	16.3	1.9	3.4

健診・医療・介護データからみる地域の健康課題 (KGB)

2) 国保加入者の状況

高山村の国民健康保険加入率は、平成25年度（累計）32.4%、平成26年度（累計）31.1%といずれも同規模の自治体と比較して高い状況です。（図表 3）

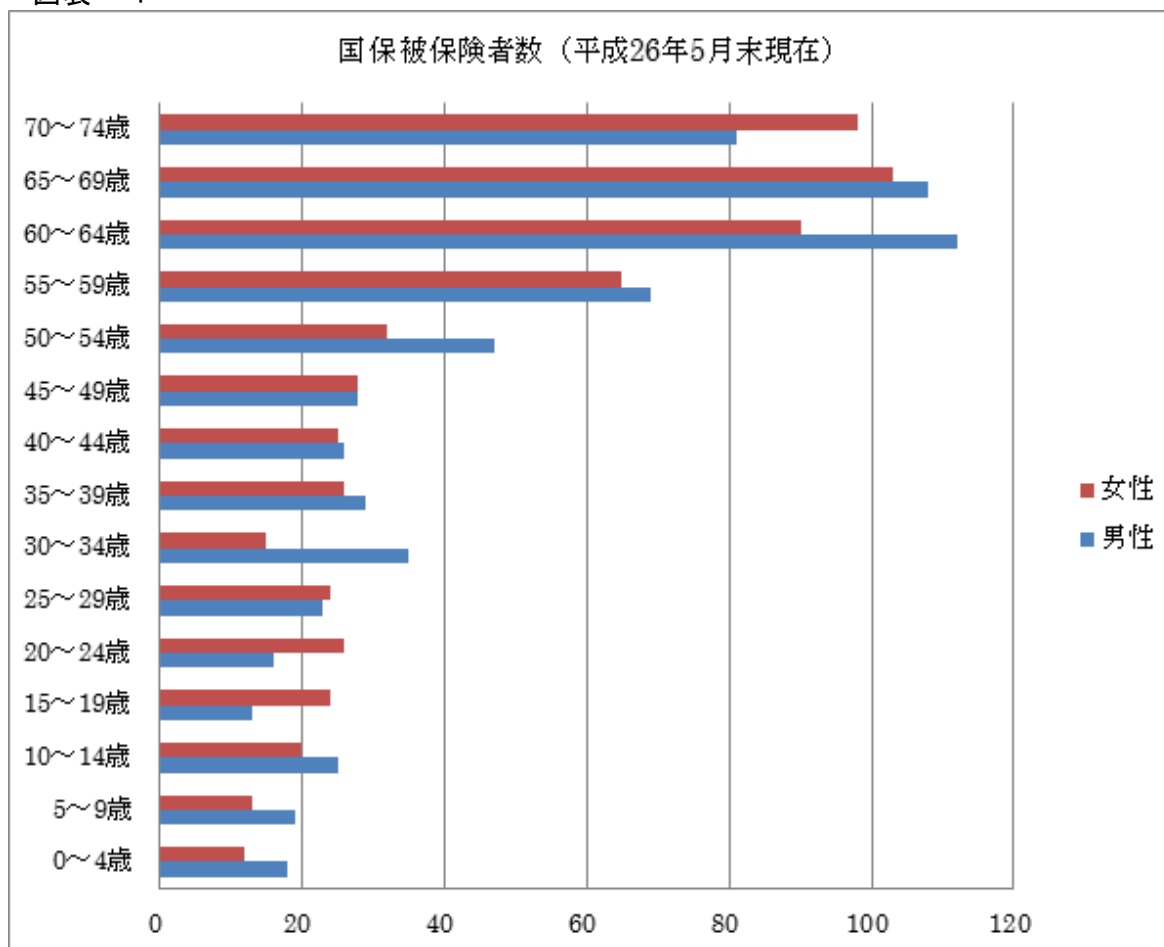
また、国保被保険者数（平成26年5月末）は、30歳から69歳までは男性が女性より多いです。（図表 4）

図表 3

	国保被保険者数		国保加入率		被保険者平均年齢	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26
高山村	1,260	1,211	32.4	31.1	50.7	51.1
県	596,252	578,676	30.4	29.5	49.8	50.4
同規模	892	869	31.9	30.6	51.9	52.4
国	30,032,316	32,318,324	29.6	28.8	49.9	50.3

健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(KGB)

図表 4



群馬県国民健康保険疾病分類統計表（平成26年5月診療分）

3) 医療・介護の状況

高山村の1人当たり医療費の変化をみると、いずれの場合も県を上まわっています。

(図表 5)

図表 5

	平成24年		平成25年		平成26年	
	被保険者数	1人当たり医療費	被保険者数	1人当たり医療費	被保険者数	1人当たり医療費
高山村	15,752	20,088	15,354	24,400	14,740	24,613
県	7,259,027	11,870	7,242,656	19,887	7,064,844	22,015
同規模	2,517,143	24,625	2,485,787	25,354	2,498,525	25,930
国	365,359,343	21,557	364,233,763	22,779	365,134,866	23,292

健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(KGB)

高山村の疾患別医療費点数(平成26年度累計)は、入院が統合失調症、肺がん、心臓弁膜症の順で多く、外来では慢性腎不全(透析あり)、高血圧症、糖尿病の順で多くなっています。(図表 6)

図表 6

順位	入院			入院外		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
高山村	統合失調症	肺がん	心臓弁膜症	慢性腎不全 (透析あり)	高血圧症	糖尿病
群馬県	統合失調症	脳梗塞	骨折	高血圧	糖尿病	慢性腎不全 (透析あり)

医療費分析(1)細小分類(KGB)

生活習慣病疾患別の1人あたり医療費は入院で脳血管疾患が最も多く、次いで悪性新生物、高血圧症となっています。外来では腎不全、悪性新生物、心疾患の順で多くなっています。(図表 7)

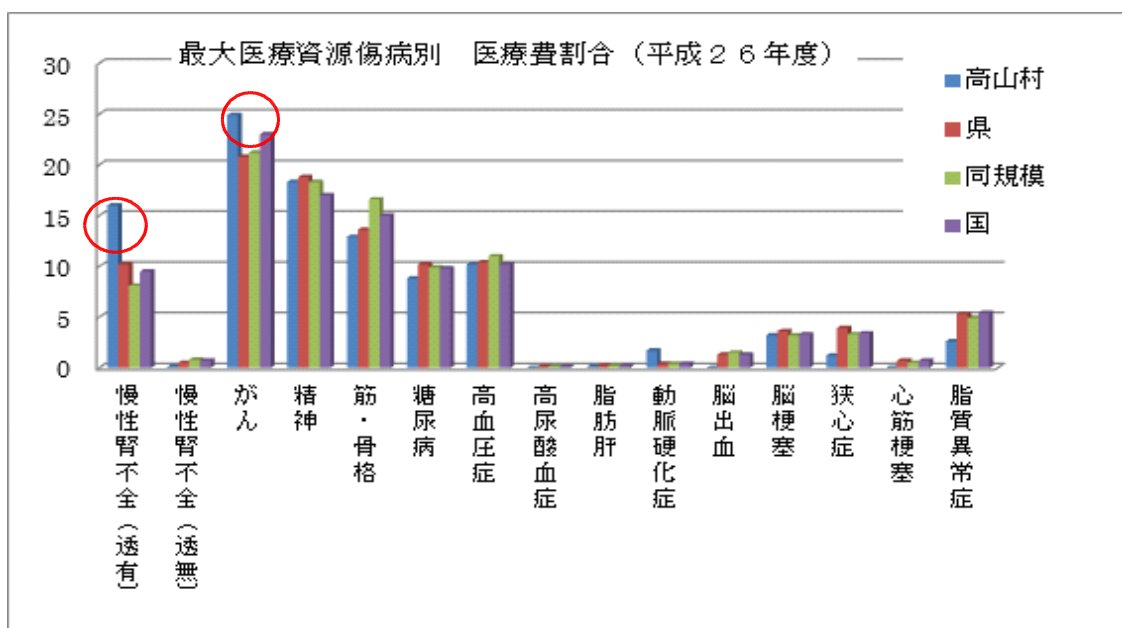
図表 7

生活習慣病疾患	入 院				外 来	
	レセプト 件数	1件あたり 医療費	総診療 実日数	1件あたり 在院日数	レセプト 件数	1件あたり 医療費
糖尿病	74	430,122	970	13	1,413	43,127
高血圧症	112	605,468	1846	16	3,329	31,135
脂質異常症	55	522,810	819	15	1,909	30,415
脳血管疾患	30	854,074	284	9	733	48,865
心疾患	42	433,268	933	22	408	55,865
腎不全	18	438,580	160	9	155	239,153
精神	181	379,291	4881	27	875	32,871
悪性新生物	64	626,805	635	10	671	56,867
歯肉炎・歯周病	499	14,277	1150	2	535	12,991

健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(KGB)

生活習慣病疾患別の1人あたりの医療費割合は、慢性腎不全（透析あり）および、がんが県、同規模、国と比較し高くなっています。(図表 8)

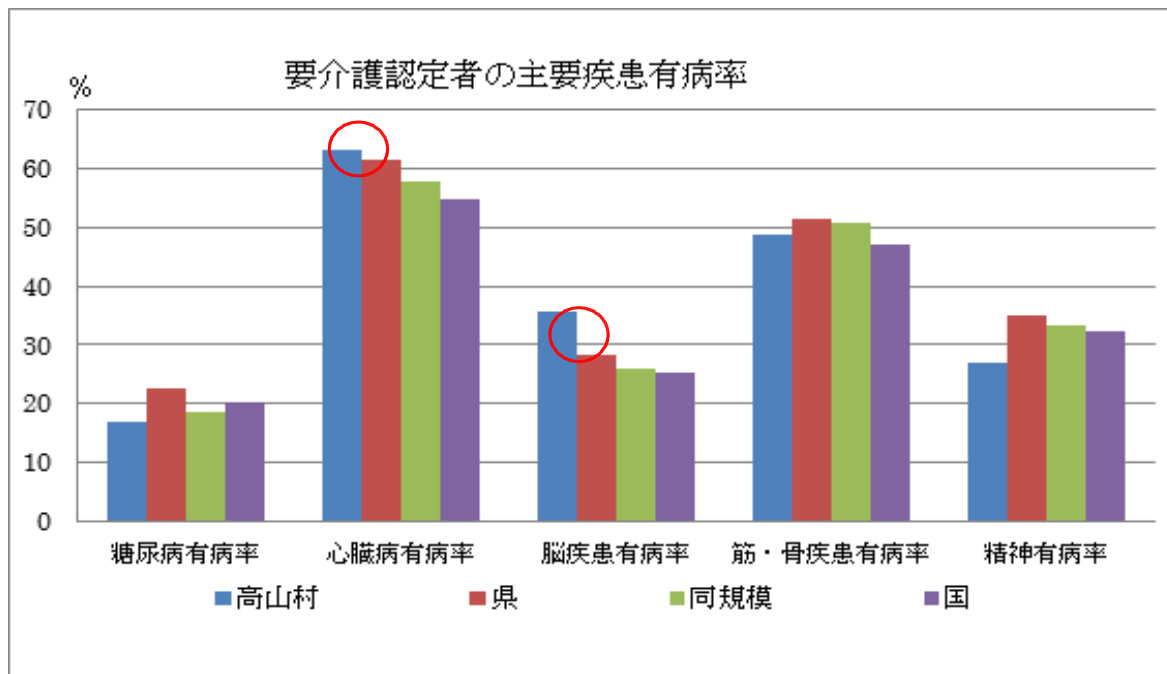
図表 8



健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(KGB)

高山村の平成26年度の要介護認定者の主要疾患有病率は、心臓病と脳疾患が多い状況にあります。(図表 9)

図表 9



健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(KGB)

要介護認定者数 (平成26年度累計)

	高山村	県	同規模	国
認定者数	233人	96,541人	48,352人	5,324,880人

健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(KGB)

4) 特定健診・保健指導の状況

特定健診の受診率は、同規模町村と比較すると低いが、国および県と比較すると高い状況にあります。(図表 10)

図表 10

	平成25年度			平成26年度		
	健診 受診者数	健診 対象者数	受診率	健診 受診者数	健診 対象者数	受診率
高山村	369	866	42.6	364	832	43.8
県	153,116	389,932	39.3	153,695	385,506	39.9
同規模	62,534	143,040	43.7	64,949	146,904	44.2
国	6,600,770	19,598,396	33.7	7,930,554	22,631,406	35

健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(KGB)

特定保健指導の実施者は平成25年度が2人、平成26年度が7人と増加しています。特定健診受診者のうちメタボ該当者は減少していますが、メタボ予備軍の増加がみられます。生活習慣病コントロールは不良の者が良好の者を上回っています。(図表 11)

図表 11

	平成25年度	平成26年度
被保険者	919	893
健診対象者	866	832
健診未受診者	497	468
健診受診者	369	364
健診受診者(治療なし)	106	109
生活習慣病のコントロール・良	121	115
生活習慣病のコントロール・不良	142	140
情報提供受診必要	38	36
情報提供受診不必要	43	50
メタボ該当者	54	45
メタボ予備群	36	48
特定保健指導対象者(動機付け支援)	18	17
特定保健指導対象者(積極的支援)	7	6
特定保健指導実施者(動機付け支援)	2	6
特定保健指導実施者(積極的支援)	0	1

(様式6-10)糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導(KGB)

特定健診受診者の検診結果の状況は、予備軍割合と血圧（基準値超割合）が県、同規模、国と比較し高く、非肥満高血糖割合も県と比較しやや低いものの同規模や国と比較すると高い状況にあります。（図表 12）

図表 12

平成26年度			高山村	県	同規模	国
予備軍割合	全体		13.2	10.6	11.7	10.7
	男性		19.4	16.8	17.4	17.1
	女性		7.4	6	6.9	5.8
メタボ割合	全体		12.4	16.9	17.5	16.4
	男性		17.7	26.4	25.6	26
	女性		7.4	9.8	10.6	9.2
非肥満高血糖割合			9.9	10.1	9.2	9
基準値超割合	腹囲	全体	29.9	30.7	33	30.6
		男性	41.7	48	48.6	48.5
		女性	19.0	17.7	19.8	17.1
	BMI	全体	3.8	5.1	6.9	4.8
		男性	0.6	1.8	2.7	1.8
		女性	6.9	7.7	10.4	7
	血糖		0.5	0.6	0.7	0.6
	血圧		9.1	7.6	8.3	7.4
	脂質		3.6	2.5	2.7	2.6
	血糖・血圧		1.9	2.7	3.1	2.6
	血糖・脂質		0.8	0.8	1	0.9
	血圧・脂質		6.3	8.3	8.3	8.2
	血糖・血圧・脂質		3.3	5.1	5.1	4.8

健診・医療・介護データからみる地域の健康課題 (KGB)

5) これまでの取り組み

高山村では、特定健診の受診率が低い状況であったため、平成25年度より国の国保保健事業助成金を活用した未受診者対策として、未受診者への受診意向等の調査、健診受診者へのフォローアップ、住民を対象とする早期介入事業として各種健康教室の開催などを実施してきました。特定健診の受診率は微増ですが向上してきています。また、特定保健指導の実施者も増加し、継続して教室参加を希望する者も増えています。特に特定保健指導では、男性参加者が増加しています。

	事業名(平成27年度)	目的・対象者・事業内容
1	特定健康診査	【目的】 内臓脂肪症候群に着目した健診で生活習慣病の有病者・予備群を減少させる 【対象者】 40歳～74歳の高山村国民健康保険加入者 【事業内容】 集団健診：7月29日～31日 個別健診：6月1日～8月31日
2	人間ドック	【目的】 内臓脂肪症候群に着目した健診で生活習慣病の有病者・予備群を減少させる 【対象者】 35歳～74歳の高山村国民健康保険加入者 【事業内容】 年1回の補助 30,000円まで (特定健診を受けていない者)
3	特定保健指導	【目的】 内臓脂肪症候群に着目した保健指導で生活習慣病の有病者・予備群を減少させる 【対象者】 40歳～74歳 高山村国民健康保険加入者 【事業内容】 積極的支援・動機づけ支援
4	生活習慣病予防教室 (糖尿病予防)	【目的】 糖尿病の有病者・予備群を減少させる 【対象者】 住民 【事業内容】 健康運動指導士・栄養士による講話・実技
5	生活習慣病予防教室 (高血圧予防)	【目的】 高血圧症の有病者・予備群を減少させる 【対象者】 住民 【事業内容】 健康運動指導士・栄養士による講話・実技
6	運動教室	【目的】 運動習慣の推進により、生活習慣病を予防する 【対象者】 住民 【事業内容】 健康運動指導士による講話・実技
7	その他の保健事業	【目的】 健康習慣を獲得し生活習慣病を予防する 【対象者】 住民 【事業内容】 食生活改善推進員活動、生涯学習大会 食育事業、広報による啓発活動 など

3. 分析結果に基づく健康課題の設定

データヘルス計画の主な目的は、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症などの発症を減らし、健康格差を縮小するとともに、医療費の伸び率の抑制を図ることです。

1) 健康指標の特徴

<地域の特性>

- ・ 高齢化率（65歳以上人口）は31.0%と国や県と比較して高い
- ・ 糖尿病および腎不全の死亡割合は同規模町村と比較して高い

<加入者の状況>

- ・ 国民健康保険加入率が同規模の自治体と比較して高い。
- ・ 30歳から69歳までは男性が女性より多い。

<医療・介護の状況>

- ・ 入院は統合失調症・統合失調症型障害及び妄想性障害、脳梗塞、気分（感情）障害の順で、外来では高血圧性疾患、歯肉炎及び歯周疾患、糖尿病の順で多い。
- ・ 生活習慣病疾患別の1人当たり医療費は、入院が脳血管疾患、悪性新生物、高血圧症の順で、外来では腎不全、悪性新生物、心疾患の順に多い。
- ・ 生活習慣病疾患別の1人あたりの医療費割合は、慢性腎不全（透析）とがんが県、同規模、国と比較し高い。
- ・ 要介護認定者の主要疾患有病率は、心臓病と脳疾患が多い。

<特定健診の状況>

- ・ 受診率は、国および県と比較すると高いが、同規模町村と比較し低い。
- ・ 特定保健指導の実施者は増加し、メタボ該当者は減少しているが、メタボ予備軍の増加がみられる。
- ・ 生活習慣病コントロールは不良の者が良好の者を上回っている。
- ・ 予備軍の割合と血圧（基準値超割合）が県、同規模、国と比較し高く、非肥満高血糖割合も県と比較しやや低いものの同規模や国と比較すると高い。



慢性腎不全で透析を受けている者の割合が大きいことを踏まえ、その原因の一つとして多いとされる糖尿病に着目し、重症化予防に取り組むことが課題と考えるられます。

2) 目標の設定

糖尿病性腎症、脳血管疾患、虚血性心疾患の血管変化における共通のリスクである「高血圧」「脂質異常症」「耐糖能異常」「メタボ」を減らしていく

4. 保健事業の実施

重症化予防対象者を明確にし、確実に保健指導を行うこと、治療を受けていない人や、治療を中断している人には治療の必要性を理解してもらい、適切に治療につなげることが必要です。また、生活習慣病の早期発見、早期治療につながるよう、特定健診の受診率の向上や、日頃からの生活習慣病にならないよう健康づくりを推進していく必要があります。

項目	事業名	目標
健康診査	特定健康診査	健診受診率向上により、高血圧、脂質異常症、糖尿病、内臓脂肪症候群の減少を目指す。
	人間ドック	
	若年者健診	
保健指導	健診事後指導	結果に応じた保健指導により、疾病の重症化予防を目指す。
	特定保健指導	
	病態別健康相談	保健指導率向上により、糖尿病、高血圧、脂質異常症、内臓脂肪症候群の減少を目指す。
	病態別健康教育	
健康づくり	ウォーキングの推進	健康に関する情報の発信と普及啓発を図り、健康に対する意識の向上を目指す。
	運動講習会	
	食生活改善推進員活動	
	その他健康教育	

5. データヘルス計画の評価方法

評価については、国保データベース（KDB）システムの情報を活用し、経年変化や国、県、同規模保険者との比較を行い達成率を評価します